

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第3回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	沖 野 一 雄	1 町長公約事項の進捗評価と今後の取組について	(1) 山町政の誕生から3年が経過した現在、スローガンとして掲げている「産業振興と人づくりを柱に、豊で住みよいゆんぬ創生」の実現に向けて、その進捗状況をどのように認識し、どう評価しているか。 また、残された任期1年で公約された各事項の課題実現のために具体的な取組をどう進める方針であるか。	町 長
		2 公文書の情報開示に即応するための改善策について	(1) 公文書の管理については、「町文書編さん保存規程」等に基づいて運用されているものと思料するが、特に過年度分の公文書等について、情報開示等に迅速に対応できるような適正な整理・保存方法が求められるところである。 この文書管理に係る現状と課題についてどのように認識し、今後の具体的な改善策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		3 堆肥センターが提供する堆肥の質的改善について	(1) 堆肥センターが提供している中熟堆肥については、雑草種子混入をめぐる改善策を度々求めてきたところである。同センターの健全運営を図るためにも、早急な対策・改善が必要であり、高圧空気の原料内送風による好気発酵を促進する高性能な「高圧通気エアレーションシステム」の導入を提案したいが、調査検討を加速する考えはないか。	町 長
2	高 田 豊 繁	1 茶花信号機付近一帯の湛水防除対策について	(1) 台風6号による50年に一度の記録的な豪雨は、多くの湛水被害をもたらしたが、この際補助排水路や既存排水路の部分改修整備、さらには背後流域からの排水流出抑制を図るため既存の浸透池の適正管理を行うとともに、上流区域における新たな浸透工の整備を行う考えはないか。 (2) 豪雨時に甚大な被害が想定される区域の調査と緊急避難路を整備する考えはないか。	町 長
		2 小中学校における不登校対策について	(1) 近年増えつつある小中学校における不登校の事案に対し、学校設置管理者としてどのように認識し、今後どう対策を講じて行く考えであるか。	教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第3回定例会 No. 2

順位	質問者	質問事項	要 旨	質問の相手
		3 U・Iターン者の新規起業家 応援態勢の強化について	(1) 若者定住化促進対策の一環として、U・Iターン者等の新規起業家への各種助成対策についてどう考えているか。	町 長
		4 農業病虫害対策の現状について	(1) カンキツグリーンング病等の農業病虫害対策の現状と課題についてどう考えているか。	町 長
3	町 俊 策	1 町職員の新規採用枠について	(1) 親の高齢化による「家」の跡継ぎ対策や少子化対策の一環として、未就学児や就学児のいる家族がUターンして定住できるよう、子育て世帯に限定した町職員の新規採用枠を設ける考えはないか。	町 長
		2 町職員の研修・指導体制について	(1) 近年、多くのベテラン職員が退職したことに伴い、新人職員や昇任者が増えたことや、在職10年以内の職員が全職員の半数を占めていることなどから、若手職員の行政事務能力の低下が懸念されているが、それぞれの階級に応じた教育研修や指導は実施されているか。	町 長
4	林 敏 治	1 堆肥センターの循環処理対策について	(1) 本町では、生産牛飼養頭数の増加により、牛ふんを堆肥化する堆肥センターの堆肥が余剰となり、牛ふんを受け入れできない状況となっているが、どのように認識し、今後具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		2 通信環境の整備について	(1) 町内の空港、港の待合所、図書館などの公共施設に光ファイバー網を活用したワイファイフリースポットの設置を以前から求める声があるが、具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		3 魅力ある観光地づくり	(1) 本町が魅力ある観光地であるためには、パナウル王国のマスコットキャラクターを募集・製作して、イベントや各種観光キャンペーンにおいて活用し、地域おこしなど観光地としてのイメージアップを図る必要があると痛感されるが、心機一転、積極的に取り組む考えはないか。	町 長
5	川 村 武 俊	1 AEDの設置について	(1) 救命に必要なAEDの公共施設における設置状況はどうなっているか。また、施設管理者は、AEDの取り扱い等救命講習を実施しているか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第3回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		2 公共施設の安全性について	(1) 公共施設の耐震診断の状況はどうなっているか。また、診断において耐震化の必要がある施設の安全対策は講じられているか。 (2) 大阪北部地震で高槻市のプール脇のブロック塀が倒壊し、小学4年生の女儿が下敷きになり、亡くなるという痛ましい事故が発生した。文部科学省は、全国のこども園や学校などにあるブロック塀の安全点検と対策を要請しており、国土交通省も注意を喚起している。本町のこども園、小中学校のブロック塀の安全点検と対策は講じられているか。	町 長 教 育 長
		3 敬老年金について	(1) 90歳以上の高齢者に敬老年金(1万8,000円)が支給され喜ばれている。この支給年金を75歳に引き下げる考えはないか。	町 長
6	林 隆 壽	1 本町におけるコンプライアンスとリスクマネジメント(危機管理)について	(1) 最近、財務省・文部科学省等の国家公務員や有名私立大学・アマチュアスポーツ組織等におけるコンプライアンスに反する事件、組織内におけるセクハラ・パワハラ行為など、組織のガバナンス能力の問題が問われていることについて、新聞やテレビ等のメディアで頻繁に報道されている。 町長は、このような状況を鑑みて本町の運営状況をどのように認識し、現在どのようなコンプライアンス対策を講じているか。 (2) 全国の地方自治体において、行政による不正や不祥事、政策の過誤、大規模災害や社会的事件への対応の遅れなど、地域社会や住民生活にマイナスの影響を及ぼす重大な事象が頻発している。例えば自治体職員のミスや不正による個人情報漏洩、大規模災害時の緊急支援、復旧活動での行政の対応の不備などが頻発している。これらは、自治体におけるリスク(危機)の高まりを意味しており、こうしたリスクに対し、事前の予防、事中の影響軽減、事後の適切な処理など、組織全体で効果的に行う「リスクマネジメント」が極めて重要になっている現状にあるが、本町においてはどのような危機管理体制がなされているか。	町 長 町 長

